

平成17年9月13日

株式会社エコループセンター
代表取締役社長 岡崎 洋 殿

山北町長 佐藤 精一郎

エコループプロジェクト立地候補地としての最終判断について

初秋の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、山北町におきましては、昨年4月、NPO法人環境テクノロジーセンターから「エコループプロジェクト」の提案を受け、7月5日に神奈川県庁において、神奈川県知事、NPO法人環境テクノロジーセンター岡崎理事長と山北町と3者で会見し、町は立地候補地として検討を進めることを表明いたしました。その後、株式会社エコループセンターが設立され、今年の3月まで事業化判断のための調査が行われた。その結果、4月1日に事業化することの最終判断の報告と支援助力の要請をいただきました。

しかしながら、これまで会社側から示されている内容では、未だ具体性に欠け、町として、町民の方々の理解を得るために必要な情報が十分に得られていないのが実情であります。

一方、足柄上地区1市5町のごみ処理広域化の取り組みは、このプロジェクトを見極めるべく休止しているところでありますが、一般廃棄物の処理責任を有する市町にとって、これ以上の遅滞は許されない時期にきています。

また、県内の市町村や各ブロックからは、本プロジェクトに対する明確な参加意向の表明がされていないのも実情であります。

こうしたことから、この度、エコループプロジェクトの立地候補地としての検討を進めていくことを断念することとしたものであります。

もとより、このエコループプロジェクト自体は、幅広く環境に配慮した廃棄物の総合処理システムを民間の手で具体化するものであり、画期的な環境共生型の新産業であると評価しているところであり、こうした新産業の誘致によって、山北町の発展、活性化を図ることが、私の願いであるということについては、今でも変わっておりません。こうした事情をお汲み取りいただき、この度の決断に、ご理解を賜りたいと存じます。

また、立地候補地としての表明以来、誠心誠意ご検討をいただいた岡崎社長を始め、株式会社エコループセンターの方々には感謝を申し上げたいと思います。